

## 11. 肉用牛

### (1)肉用牛改良増殖目標（農林水産省令和12年度目標）

#### ①去勢肥育牛の能力に関する目標数値(全国平均)

	品 種	肥育開始 体 重	肥育終了 体 重	枝 肉 量 重 量	1日平均 増体重	肉 質 等 級
現 在	黒毛和種	kg 296	kg 782	kg 502	kg 0.79	4.2
	褐毛和種	302	769	506	0.96	2.9
	日本短角種	300	780	456	0.98	2.1
	乳用種	293	776	440	1.19	2.0
	交雑種	293	827	528	0.94	2.8
目 標 (令和12年度)	黒毛和種	280	760	480(545)	0.88	4
	褐毛和種	300	750	490(556)	0.99	3
	日本短角種	320	780	450(481)	1.01	2
	乳用種	290	780	450(483)	1.34	2
	交雑種	290	830	540(570)	0.99	3

注：1）目標数値は、肥育期間の短縮等を目指したものであり、この場合の肥育終了月齢（〔 〕内は肥育開始月齢）は以下のとおりである。

黒毛和種：26～28か月〔8か月〕（現在）29.5か月〔9.2か月〕

褐毛和種：23か月〔8か月〕（現在）26.1か月〔9.1か月〕

日本短角種：23か月〔8か月〕（現在）24.6か月〔8.5か月〕

乳用種：19か月〔7か月〕（現在）20.4か月〔7.1か月〕

交雑種：25か月〔7か月〕（現在）26.4か月〔7.8か月〕

2）目標の欄の（）内は、現在値の肥育終了月齢に推計した枝肉重量である。

3）「肉質等級」は、肉質の維持又は向上を目指しつつ、効率的な肥育を図るための目安である。

①脂肪交雑、②肉の色沢、③肉の縮まり及びきめ、④脂肪の色沢と質の4項目ごとに等級（5段階：脂肪交雑ならば、「5」（かなり多い）から「1」（ほとんどない）までの5段階）を判定し、項目のうち最も低い等級に決定して格付けされる。

4）交雑種とは、異品種間の交配により生産されたもので、多くはホルスタイン種の雌牛に黒毛和種の精液を人工授精すること等により生産されている。

5）現在の数値は、畜産物生産費（平成29年度）、「牛枝肉格付情報（平成30年）」の数値である。

#### ②種雄牛の能力(育種価向上値)に関する目標数値(全国平均)

	品 種	日齢枝肉重量	脂 肪 交 雑
現 在	黒毛和種	g 0 (560)	B. M. S. No 0 (7.2)
	褐毛和種	0 (634)	0 (3.9)
	日本短角種	0 (568)	0 (2.2)
	黒毛和種	+47	±0
目 標 (令和12年度)	褐毛和種	+63	±0
	日本短角種	+34	±0

注：1）育種価向上値は親牛がその子に及ぼす遺伝的能力向上効果のことであり、基準年を0として算出される。令和12年度の目標数値は、同年に評価される種雄牛のうち直近年度に生産された種雄牛の数値(育種価)と基準年(平成23年度)に生まれた種雄牛の数値(育種価)の差である。

2）現在の欄の（）内は、枝肉情報として収集した去勢肥育牛の値の平均値である。

3）B. M. S. No(Beef Marbling Standard)

牛肉の脂肪交雑の程度を示すもの。12段階に分かれ、数字が大きいほど、サシ(筋束や筋繊維間に蓄積された斑点状の脂肪組織)が細かくて多いとされる。

### ③繁殖雌牛の体型に関する目標数値（全国平均） ※成熟時

	品 種	体高	胸囲	かん幅	体重
現 在	黒毛和種	cm 130	cm 187	cm 47	kg 487
	褐毛和種	134	196	50	585
	日本短角種	133	199	49	585
目 標 (令和12年度)	黒毛和種	130	190	48	520
	褐毛和種	134	200	50	600
	日本短角種	133	203	51	600

注：1）現在値は、家畜登録機関の推計値。

2）高知系の褐毛和種及び無角和種については黒毛和種に準ずる。

### ④繁殖能力に関する目標数値（全国平均）

	初産月齢	分娩間隔 (日数)
現 在	か月 24.5	か月 13.2 (400日)
目 標 (令和12年度)	23.5	12.5 (380日)

## (2)牛枝肉取引規格

### 歩留等級

歩留等級は、左半丸枝肉を第6-7肋骨間で切断して次式により歩留基準値を算出し、「A」「B」「C」の3クラスに決定されます。

歩留基準値=67.37+(0.130×胸最長筋面積 (cm) )

+ (0.667×ばらの厚さ (cm) )

−(0.025×冷屠体重量(半丸枝肉(kg)))

−(0.896×皮下脂肪の厚さ (cm) )

等級	歩留基準値	歩 留
A	72以上	部分内歩留が標準より良いもの
B	69以上72未満	部分内歩留の標準のもの
C	69未満	部分内歩留が標準より劣るもの

ただし、肉用種枝肉の場合2.049を加算します。また、筋間脂肪が枝肉重量、胸最長筋面積に比べかなり厚いとか、「もも」の厚さに欠け、かつ、「まえ」と「もも」の釣り合いが著しく欠けるものは、歩留等級が1等級下になる場合があります。

### 肉質等級

#### ①脂肪交雑

脂肪交雑評価基準の「1〜1」の範囲が、総屠畜頭数の40%と最も多く分布しており、この範囲を等級「3」と定め、これを中心に正規分布するように全体を5区分しています。この結果、脂肪交雑の評価基準は緩和されることになります。また、判定は、牛脂肪交雑基準(B.M.S.)により決定されます。

#### ②脂肪交雑の等級区分

等 級	脂肪交雑評価基準	B.M.S.
5	かなり多いもの	2+以上
4	やや多いもの	1+〜2
3	標準のもの	1〜1
2	やや少ないもの	0+
1	ほとんどないもの	0

#### OB.M.S. 脂肪交雑評価基準及び等級区分の関係

B.M.S.No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
脂肪交雑基準	0	0+	1-	1	1+	2-	2	2+	3-	3	4	5
等級区分	1	2	3			4			5			

### ②肉の色沢

この項目の判定基準は、肉色については、牛肉色基準(B. C. S.)で、光沢は、肉眼で判定して等級が決定されます。

### ○肉色及び光沢の等級区分

等 級	肉色(B. C. S.No)	光 沢
5	かなり良いもの	No3～5
4	やや良いもの	2～6
3	標準のもの	1～6
2	標準に準ずるもの	1～7
1	劣るもの	等級5～2以外のもの

### ③肉の締まり及びきめ

この項目の判定基準は、肉眼で締まり及びきめを判定し、等級が決定されます。

### ○肉の締まり及びきめの等級区分

等級	締 ま り	き め
5	かなり良いもの	かなり細かいもの
4	やや良いもの	やや細かいもの
3	標準のもの	標準のもの
2	標準に準ずるもの	標準に準ずるもの
1	劣るもの	粗いもの

### ④脂肪の色沢と質

この項目の判定基準は、脂肪色については、牛脂肪色基準(B. F. S.)で、光沢及び質は、肉眼で判定して等級が決定されます。

### ○脂肪の色沢と質の等級区分

等 級	脂肪色(B. F. S.No)	光沢と質
5	かなり良いもの	No1～4
4	やや良いもの	1～5
3	標準のもの	1～6
2	標準に準ずるもの	1～7
1	劣るもの	等級5～2以外のもの

## 肉質等級の決定

肉質等級は、以上の4項目のうち、最も低い等級に決定されます。

## 等級表示

規格の等級表示は、歩留等級と肉質等級のそれぞれを右の表示区分によって連記表示されます。

### ○等級区分

歩留等級	肉 質 等 級				
	5	4	3	2	1
A	A5	A4	A3	A2	A1
B	B5	B4	B3	B2	B1
C	C5	C4	C3	C2	C1

### ○等級表示例

A  
5

## 瑕疵の表示

枝肉に瑕疵が認められたものは、その種類によって等級表示に付記されます。

### ○瑕疵の種類区分と表示

瑕疵の種類	表 示	瑕疵の種類	表 示
多発性筋出血(シミ)	ア	外 傷(アタリ)	エ
水 腫(ズル)	イ	割 除(カツジョ)	オ
筋 炎(シコリ)	ウ	そ の 他	カ

### ○筋炎表示例

A  
5

ウ

### (3)牛肉関係

#### ①牛肉需給表

年度・月	推定期首在庫		生産量		輸入量		輸出量		推定期末在庫	
	トン	前年比 %	トン	前年比 %	トン	前年比 %	トン	前年比 %	トン	前年比 %
2019年度	115,940	118.8	329,595	99.0	622,366	100.4	4,139	108.9	126,843	109.4
2020	126,843	109.4	335,496	101.8	590,992	95.0	5,565	134.5	117,475	92.6
2021	117,475	92.6	335,942	100.1	569,107	96.3	7,889	141.8	127,825	108.8
2022	127,825	108.8	347,600	103.5	562,505	98.8	7,778	98.6	149,724	117.1
2023年4	149,724	117.1	30,303	101.9	67,921	110.4	738	141.0	160,155	127.1
5	160,155	127.1	27,295	102.1	46,459	101.5	563	110.8	160,569	122.7
6	160,569	122.7	28,420	102.7	43,663	75.7	621	122.0	160,308	112.6
7	160,308	112.6	30,670	102.0	38,693	74.4	631	97.7	159,090	105.6
8	159,090	105.6	26,782	101.0	45,668	85.4	639	97.0	160,381	100.3
9	160,381	100.3	28,101	100.0	37,023	71.3	802	114.5	156,326	94.3
10	156,326	94.3	30,423	105.4	40,334	83.0	837	100.7	150,877	91.5
11	150,877	91.5	35,031	98.6	33,409	84.8	843	122.6	138,781	85.3
12	138,781	85.3	31,556	99.5	36,092	96.4	909	103.6	129,826	83.5
2024年1	129,826	83.5	27,314	102.5	43,264	108.4	603	139.8	133,856	86.2
2	133,856	86.2	26,904	101.5	31,010	81.6	694	108.3	129,108	83.3
3	129,108	83.3	28,696	97.3	38,362	104.3	771	100.9	124,337	83.0
2023年度	149,724	117.1	351,496	101.1	501,898	89.2	8,651	111.2	124,337	83.0

資料：農林水産省「食肉流通統計」、財務省「貿易統計」、在庫量は(独)農畜産業振興機構調べ。

注：部分肉ベース。輸入量は煮沸肉並びにくず肉のうちほぼ肉および頭肉のみ含む。

年度・月	輸入品在庫		国産品在庫		推定出回り量		うち 輸入品		うち 国産品	
	トン	前年比 %	トン	前年比 %	トン	前年比 %	トン	前年比 %	トン	前年比 %
2019年度	116,128	108.3	10,715	122.7	936,919	100.7	613,444	102.1	323,475	98.1
2020	104,931	90.4	12,544	117.1	930,290	99.3	602,189	98.2	328,101	101.4
2021	114,655	109.3	13,170	105.0	886,809	95.3	559,383	92.9	327,427	99.8
2022	137,128	119.6	12,596	95.6	880,428	99.3	540,032	96.5	340,396	104.0
2023年4	147,784	129.4	12,371	104.8	87,054	94.1	57,265	92.4	29,790	97.4
5	148,317	125.4	12,252	97.8	72,778	108.4	45,926	110.3	26,851	105.4
6	148,065	114.2	12,243	95.5	71,724	97.9	43,915	94.7	27,808	103.5
7	146,616	106.7	12,474	94.1	69,950	95.5	40,142	90.7	29,808	102.8
8	148,038	101.0	12,343	93.2	70,521	100.6	44,246	100.1	26,275	101.5
9	143,424	94.2	12,902	94.6	68,376	93.2	41,637	89.8	26,740	99.0
10	137,851	90.8	13,026	99.5	75,369	97.2	45,907	93.8	29,463	103.1
11	125,976	84.0	12,805	100.8	79,693	104.2	45,284	109.8	34,409	97.7
12	117,207	82.0	12,619	99.4	75,694	100.3	44,861	100.6	30,833	99.9
2024年1	122,238	85.3	11,618	97.2	65,945	99.2	38,233	96.7	27,712	102.8
2	117,666	82.5	11,442	92.7	61,968	96.6	35,582	92.0	26,385	103.6
3	111,229	81.1	13,108	104.1	71,058	100.5	44,799	106.1	26,259	92.2
2023年度	111,229	81.1	13,108	104.1	870,130	98.8	527,797	97.7	342,333	100.6

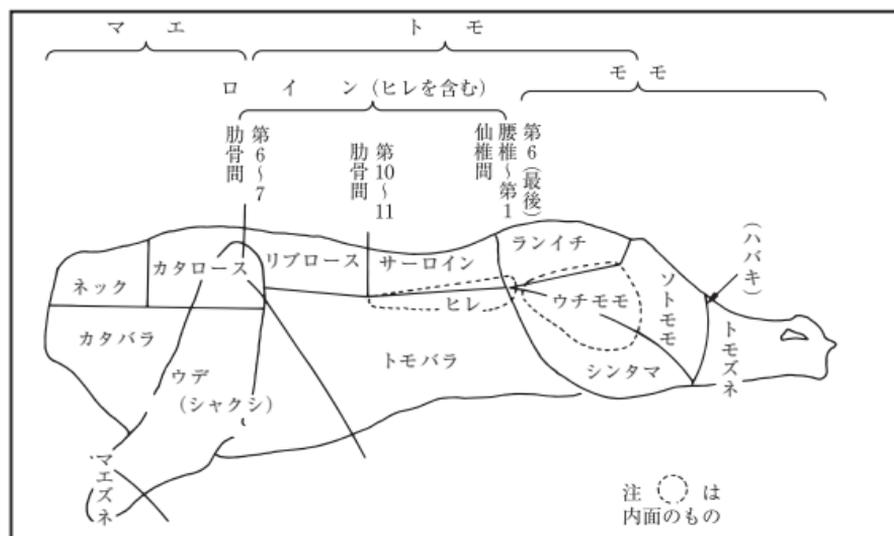
## ②種類別と畜頭数

年度・月	牛 計		成 牛									
			成 牛 計		和 牛						和牛去勢	
	和 牛 計				和牛めす		和牛去勢					
	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %
2019年度	1,041,979	98.7	1,037,522	98.7	459,206	100.9	208,221	100.3	250,711	101.3	274	97.2
2020	1,056,931	101.4	1,052,650	101.5	483,384	105.3	218,289	104.8	264,795	105.6	300	109.5
2021	1,059,509	100.2	1,055,032	100.2	483,706	100.1	218,193	100.0	265,203	100.2	310	103.3
2022	1,098,457	103.7	1,092,538	103.6	494,301	102.2	225,524	103.4	268,361	101.2	416	134.2
2023年4	93,741	101.0	93,223	100.9	43,291	101.0	19,677	102.6	23,568	99.8	46	104.5
5	85,209	101.3	84,697	101.2	38,258	102.7	17,795	103.5	20,436	102.4	27	25.5
6	88,948	101.7	88,422	101.6	40,624	102.9	19,000	103.7	21,594	102.3	30	100.0
7	95,740	101.3	95,296	101.3	45,855	102.3	20,980	103.7	24,856	101.0	19	158.3
8	85,847	100.1	85,392	100.1	37,687	103.5	17,526	105.0	20,142	102.2	19	59.4
9	90,362	100.4	89,835	100.4	40,330	101.8	18,631	103.3	21,677	100.6	22	115.8
10	96,554	104.7	96,005	104.7	44,421	109.8	21,015	113.2	23,386	106.9	20	125.0
11	109,323	98.0	108,835	98.0	55,627	103.3	25,562	105.8	30,040	101.4	25	64.1
12	97,894	98.9	97,453	98.9	47,899	102.1	22,099	105.9	25,790	99.1	10	66.7
2024年1	85,522	101.5	85,166	101.7	39,332	109.1	18,843	112.2	20,466	106.5	23	57.5
2	84,311	101.2	83,898	101.3	38,941	108.0	18,619	111.4	20,298	105.0	24	114.3
3	90,105	96.5	89,625	96.6	41,699	102.8	19,764	105.3	21,897	100.7	38	90.5
2023年度	1,103,556	100.5	1,097,847	100.5	513,964	104.0	239,511	106.2	274,150	102.2	303	72.8

資料：農林水産省「食肉流通統計」

年度・月	成 牛														その他の牛			
	乳 牛						交 雑 牛											
	乳牛計		乳牛めす		乳牛去勢		乳おす		交雑牛計		交雑牛めす		交雑牛去勢		交雑牛おす			
	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %	頭	前年比 %		
2019年度	332,009	98.5	165,586	103.3	166,136	94.3	287	90.3	234,256	94.4	109,899	94.2	124,290	94.5	67	139.6	12,051	108.2
2020	327,871	98.8	167,633	101.2	159,955	96.3	283	98.6	227,529	97.1	106,973	97.3	120,517	97.0	39	58.2	13,866	115.1
2021	325,310	99.2	173,618	103.6	151,443	94.7	249	88.0	231,959	101.9	109,999	102.8	121,922	101.2	38	97.4	14,057	101.4
2022	331,611	101.9	193,559	111.5	137,749	91.0	303	121.7	253,637	109.3	118,628	107.8	134,963	110.7	46	121.1	12,989	92.4
2023年4	25,361	93.9	14,140	96.5	11,202	91.9	19	118.8	23,657	110.9	11,644	113.0	12,008	108.8	5	500.0	914	75.7
5	25,087	97.5	13,992	102.1	11,089	92.4	6	35.3	20,492	104.3	9,710	105.5	10,778	103.3	4	100.0	860	80.8
6	25,727	96.2	14,513	99.2	11,193	92.4	21	123.5	21,158	107.4	10,049	110.0	11,104	105.1	5	250.0	913	82.9
7	25,591	95.4	14,354	96.7	11,160	93.4	77	334.8	22,984	107.9	11,152	111.4	11,830	104.9	2	100.0	866	77.0
8	26,645	94.0	15,408	94.0	11,198	93.9	39	100.0	20,218	103.0	9,484	99.3	10,711	106.3	23	383.3	842	91.9
9	27,305	96.8	16,530	98.3	10,709	94.5	66	120.0	21,386	103.7	10,213	106.4	11,169	101.5	4	80.0	814	78.6
10	28,278	99.8	17,203	98.0	11,061	102.9	14	50.0	22,393	102.6	10,489	103.5	11,903	101.8	1	16.7	913	86.4
11	27,963	90.7	16,861	90.0	11,093	92.0	9	50.0	24,475	97.4	11,354	97.4	13,117	97.4	4	66.7	770	63.4
12	25,420	92.2	14,893	90.7	10,521	94.3	6	120.0	23,301	101.5	10,719	104.0	12,579	99.4	3	75.0	833	76.0
2024年1	25,144	93.9	14,970	91.6	10,153	97.4	21	233.3	19,998	99.8	9,540	101.7	10,456	98.1	2	100.0	692	75.0
2	24,491	93.7	14,080	91.5	10,375	96.8	36	133.3	19,750	100.8	9,034	99.3	10,714	102.1	2	40.0	716	68.8
3	26,166	89.8	15,293	85.2	10,747	96.4	126	257.1	20,989	96.0	9,792	95.5	11,194	96.4	3	100.0	771	63.8
2023年度	313,178	94.4	182,237	94.2	130,501	94.7	440	145.2	260,801	102.8	123,180	103.8	137,563	101.9	58	126.1	9,904	76.2

#### (4) 枝肉の部位と名称 (日本食肉格付協会)

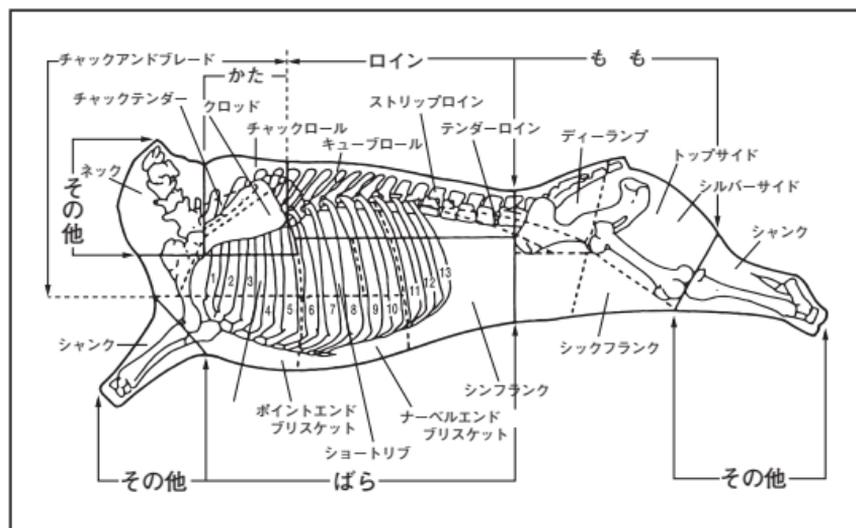


#### (5) 輸入牛肉の代表的な部位の国別の名称及び規格の違い (各部位の比較)

大分類	アメリカ産		オーストラリア産		日本の部位名 (参考)	備考
	部位名	特徴	部位名	特徴		
フ	No116A チャック ロール	おおむね第3～4頭椎間でネックと分割されている。	チャック ロール	第5～6頭椎間でネックと分離し骨幅筋や項軟帯も除去してある。	かたロース	
オ	No114 ショルダ ークロッド	「かた」に相当する部位から「とうがらし」を分割したものを。	クロッド	アメリカとほぼ同じ。	か た	「とうがらし」は「チャックテンダー」という部分肉が別途輸入されている。
ク	No120 フリ ース ケ ット	肋骨筋は付いておらず、頭部の硬い脂肪も除去されている。	ポイント エ ン ド プ リ ス ケ ット	アメリカとほぼ同じ。	かたばら	
リ	No112A リア イ ー ル リ ッ プ オ ン	7本リブで「リップオン」つまりバラ先が付いている。	キュー ー プ ロ ー ル	5本リブではほぼアメリカと同じ部位だが、バラ先がなく表面脂肪もほとんど整形されている。	リップロース	
リ	No123 背付 ショ ー ト リ ッ プ	第6～8肋骨間に相当するバラの部分で約25cm幅にカットしたものを。	な し		ともばらの 一 部	
上記の他にNo116スクウェアカットチャック、No121Bショートプレートといった部位も輸入されている。						
ハ	No180 スト リ ッ プ ロ イ ン	第13肋骨の1本リブで背脂肪の厚さが1.9～2.5cm以内に整形されている。	スト リ ッ プ ロ イ ン	3本リブで背脂肪の厚さが1.2cmに整形されている。	サーロイン	
イ	No189 フル ン デ ン ー ロ イ ン	先端の細い部分の1/4は表面脂肪を除去してあるが、それ以外の太い部分は1.9cm以下に整形してある。	テ ン ダ ー ロ イ ン	表面脂肪がほとんど除去してある。	ヒ レ	
ク	No184 ト ッ プ サ ー ロ イ ン バ ッ ト	日本の「らんいち」に相当する部位。	D-ラン プ	アメリカとほぼ同じ。	らんいち	
ク	No167 ナ ク ク ル	日本の「しんたま」に相当する部位。	シ ッ ク フ ラ ン ク	アメリカとは同じだが、表面脂肪などの整形をよくしたものは、「ナックル」という名称で輸入されている。	しんたま	
リ	No170 ポ ト ム ラ ウ ン ド	日本の「そともも」に相当する部位。	シル バ ー サ イ ド	アメリカとは同じだが、表面脂肪などの整形をよくしたものは、「アウトサイド」という名称で輸入されている。	そともも	
リ	No168 ト ッ プ ラ ウ ン ド	日本の「うちもも」に相当する部位。	ト ッ プ サ イ ド	アメリカとは同じだが、表面脂肪などの整形を良くしたものは、「インサイド」という名称で輸入されている。	うちもも	
リ	No185 ポ ト ム サ ー ロ イ ン バ ッ ト	日本の「しんしん」、「かいかのみ」及び「ともさんかく」の一部に相当する部位。	な し	「フルランプ」の一部に含まれて輸入されているが、単独の部位としては輸入されていない。	な し	
上記の他にオーストラリアからはカウミート、マニユアクチュアリングといった加工用牛肉も輸入されている。						



## (7) オーストラリアの牛枝肉カットチャート



### □牛肉格付・チラーアセスメントの肉質判定基準

評価基準	記号	番号	番号の意味
脂肪交雑基準	MB (Marbling)	No 1 ~ No 12 (12区分)	サシ無し (No 1) ~ サシ多い (No 12)
肉色基準	MC (Meat Colour)	No 1 ~ No 9 (11区分)	・ 淡 (No 1) ~ 濃 (No 9) ・ No 1 は No 1 a, No 1 b, No 1 c, の3段階
脂肪色基準	FC (Fat Colour)	No 0 ~ No 12 (13区分)	純白 (No 0) ~ 濃黄 (No 12)
「きめ」基準	T (Texture)	No 1 ~ No 3 (3区分)	粗い (No 1) ~ 標準 ~ 細かい (No 3)
「しまり」基準		No 1 ~ No 3 (3区分)	柔らかい (No 1) ~ 標準 ~ 堅い (No 3)

### □グレインフェッド・ミニマム・スタンダード

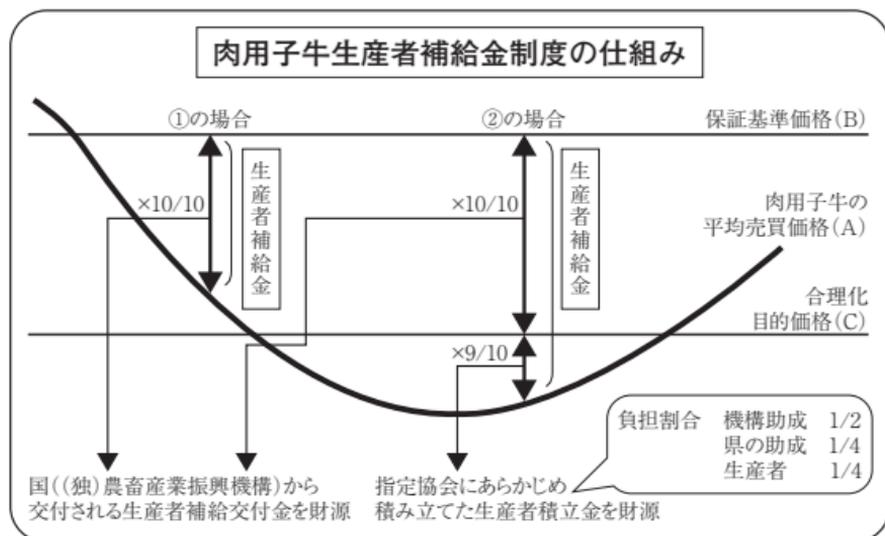
	フードロット肥育日数	永久歯数	脂肪厚	肉色	脂肪色
GF 〈グレイン フェッド・ ビーフ〉	100日以上。うち80日以上は穀物の構成比が最も高く、ハイエネルギーで栄養的にバランスのとれた飼料を供与する。	6本以下	5%以上	No 1 ~ No 5	No 0 ~ No 5
GFYG 〈グレイン フェッド・ ヤング ビーフ〉	70日以上。うち、50日以上は穀物の構成比が最も高く、ハイエネルギーで栄養的にバランスのとれた飼料を供与する。	2本以下	4%以上	No 1 ~ No 4	No 0 ~ No 4

## (8)肉用子牛生産者補給金制度

制度の仕組みと事務手続

### 制度の仕組み

- 肉用子牛生産者補給制度は、肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としています。
- 生産者補給金は、肉用子牛の平均売買価格(品種別・四半期毎)が農林水産大臣が毎年度決定する保証基準価格を下回った場合に交付されます。



四半期毎に農林水産大臣が告知する肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に、その期間中に肉用子牛を販売または自家保留していれば生産者補給金が交付されます。

[生産者補給金の1頭当たりの交付額は、次のとおりです]

- ①平均売買価格(A)が保証基準価格(B)を下回り、合理化目標価格(C)以上の場合

$$\text{補給金交付額} = \text{保証基準価格(B)} - \text{平均売買価格(A)}$$

- ②平均売買価格(A)が合理化目標価格(C)を下回っている場合

$$\begin{aligned} \text{補給金交付額} &= (\text{保証基準価格(B)} - \text{合理化目標価格(C)}) \\ &+ (\text{合理化目標価格(C)} - \text{平均売買価格(A)}) \times 90\% \end{aligned}$$

## 指定肉用子牛保証基準価格及び合理化目標価格

(単位：円/頭)

		保証基準価格	合理化目標価格
令和3年度	黒毛和種	541,000	429,000
	褐毛和種	498,000	395,000
	その他の肉専用種	320,000	253,000
	乳用種	164,000	110,000
	交雑種	274,000	216,000
令和4年度	黒毛和種	541,000	429,000
	褐毛和種	498,000	395,000
	その他の肉専用種	320,000	253,000
	乳用種	164,000	110,000
	交雑種	274,000	216,000
令和5年度	黒毛和種	556,000	439,000
	褐毛和種	507,000	400,000
	その他の肉専用種	325,000	256,000
	乳用種	164,000	110,000
	交雑種	274,000	216,000
令和6年度	黒毛和種	564,000	444,000
	褐毛和種	514,000	404,000
	その他の肉専用種	328,000	258,000
	乳用種	164,000	110,000
	交雑種	274,000	216,000

※保証基準価格及び合理化目標価格は、令和元年10月の消費税率引き上げを反映させた価格である。

## 補給金交付実績

	黒毛和種		褐毛和種		その他の肉専用種		乳用種		交雑種		
	売買価格	補給金	売買価格	補給金	売買価格	補給金	売買価格	補給金	売買価格	補給金	
R 3. 1/4	756,000	-	666,300	-	311,800	8,200	246,300	-	339,000	-	
	2/4	720,400	-	600,500			-	245,300	-	326,900	-
	3/4	738,100	-	659,800			-	237,600	-	315,400	-
	4/4	730,200	-	589,500			-	231,200	-	324,400	-
R 4. 1/4	668,500	-	553,100	-	252,300	67,630	210,000	-	293,300	-	
	2/4	605,400	-	536,800			-	149,500	-	275,400	-
	3/4	614,000	-	534,100			-	127,400	-	301,400	-
	4/4	613,600	-	523,500			-	148,100	-	308,200	-
R 5. 1/4	586,800	-	534,000	-	232,100	90,510	170,200	-	304,200	-	
	2/4	521,600	34,400	553,000			-	196,900	-	299,600	-
	3/4	522,500	33,500	574,500			-	182,900	-	326,600	-
	4/4	562,200	-	585,300			-	173,600	-	347,700	-